

研究課題別事後評価結果

1. 研究課題名： 次世代言語生成のための生成文評価基盤

2. 個人研究者名

須藤 克仁（奈良先端科学技術大学院大学先端科学技術研究科 准教授）

3. 事後評価結果

次世代の言語生成技術の研究開発を支える、機械生成文の人手評価尺度と自動評価方法の創出を目指した。見かけ上は流暢である生成文を、文意解釈性、文意正確性の観点から評価し、言語生成における深刻な誤りを検知・改善するシステムを開発した。

文意が正しく伝わるかを定量的に評価する方法を確立し、機械翻訳評価の国際共通タスクでトップクラスの成績をおさめたことは大いに評価できる。また、ワークショップを開催するなど、積極的な議論・意見交換を通して研究を発展させる姿勢が認められる。

今後はより精度を高め、複数の翻訳機に対するベンチマークとして活用できることを期待したい。さらに、画像などの非言語データからの言語生成、対話等への展開を進めることができれば、言語生成の基盤として社会に大きく貢献できるだろう。